

# 2人の議員が 町政を問う。

## Q 地域支援事業の現状と拡充策は

## A 高齢者対策の充実を進めます



狩野正雄議員

施行から11年が経過しておりますが、事業の実態と今後拡充すべきメニューについて、鹿追町の高齢者の状況は。

(質問) 交通弱者対策は、バス路線図や時間を分かりやすくできないか。

(回答) 吉田町長

現在、町が実施している交通弱者対策は、地域の足としての患者輸送バスやスクールバス、バス路線沿線住民にバスチケットを配布しています。路線図や時間は分かりやすい方法を検討して対応します。

## 狩野 正雄議員

地域支援事業の現状と拡充策は



## 飯沼 新吾議員

TPPに対応する農業政策の模索を



## Q TPPに対応する農業政策の模索を

## A 鹿追ブランドの確立を期待



飯沼新吾議員

(質問)

TPP（環太平洋連携協定）交渉参加に対する反対運動の中、鹿追町の農業が将来にわたっても、足腰が強く、安定した経営をするための積極的な農業政策が必要と考えますが、町長の所信をお尋ねします。

(回答) 吉田町長

TPPの農業への影響額は、北海道で5563億円、十勝で1368億円、鹿追町では全体の生産額139億円（平成18年）のうち、72%の101億円が影響額として出ます。小麦、甜菜、澱原用馬鈴薯、牛肉、豚肉は100%、生乳は80%影

(質問) 高齢者の増加に伴い、鹿追町では病院に直結した高齢者専用住宅や老健施設の建設などの施策を進めてきました。さらに高齢者が増加していく状況では安否の確認、交通弱者の対応、買い物難民を出さない為の方策など新たな課題が生まれています。地域支援条例は

(回答) 吉田町長  
75歳以上の後期高齢者は男性318名、女性456名、計774名、率13.7%。要介護者も十勝管内では最低の13.9%で元気な高齢者が多いといえますが、地域支援事業、民間企業、地域の協力が今以上に必要となってくるものと考えます。

(質問) 買い物難民といわれる人を出さないための対策は。

(回答) 吉田町長

自宅で商品注文できるシステムの開発などを商工会とともに調査検討したい。

(質問)

孤独死などを防ぐために地域や民間と協力した、安否確認の取り組みは。

(回答) 吉田町長

ケアマネージャーや民生委員が訪問相談、安否確認をしています。特に独居老



病院と直結した高齢者住宅

人、高齢夫婦世帯の見守りが必要な方は、消防署と連携して対応しています。今後は電話回線やインターネットを利用した安否確認システム等や行政や地域、民間事業者とも連携して高齢者対策の充実を進めてまいります。



改築が進む町立病院



新規作物として定着したしかおい高原キャベツ

然環境にあり、関係機関と研究を進めています。これらも、環境保全センターのビニールハウスを利用して進めたい。また1年を通しての畑作農業も模索したいと考えます。

あらゆる連携を考えた、町づくりをすすめていきます。その中で6次化の加工が始まれば、雇用が生まれます。間接的には、農産物の消費拡大につながっていくと考えています。

## まちなか会議受付中

# 「凍る夜は、熱く語りたい」

## 鹿追町議会は「住民参加型の開かれた議会」を目指します。

広報広聴常任委員会では、「まちなか会議」の一環として定例会終了後毎に「議会報告会」を開催しています。その他にも皆さんの要望に応じて懇談会・委員会を開催します。申し込み用紙を、町内各団体に配布しています。

商工会、農協、各種団体、行政区などに呼びかけていますが、詳細は鹿追町役場議会事務局（電話 66・4039）までお問い合わせ下さい。

